

○ 地域社会との接触は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「ほとんどない」が11例(42.3%)であった。また、心中事例では、「ふつう」が9例(52.9%)であった。

表4-9 地域社会との接触

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
ほとんどない	11	21.2%	42.3%	2	4.2%	11.8%
乏しい	8	15.4%	30.8%	4	8.3%	23.5%
ふつう	7	13.4%	26.9%	9	18.8%	52.9%
活発	-	-	-	2	4.2%	11.8%
小計	26	50.0%	100.0%	17	35.5%	100.0%
不明	26	50.0%		31	64.6%	
計	52	100.0%		48	100.0%	

○ 養育を支援してくれた人(複数回答)は、心中以外の事例では、実母の場合、「行政の相談担当課」が11例(21.1%)、「親」が9例(17.3%)であった。「なし」と回答したのが、7例(7.7%)あった。実父の場合は、「配偶者」及び「なし」と回答したのがいずれも6例(11.5%)であった。

心中事例では、実母の場合、「配偶者」が13例(27.1%)、「親」が11例(22.9%)であった。実父の場合は、「親」が8例(13.3%)、「配偶者」が6例(10.0%)であった。

表4-10 養育を支援してくれた人(複数回答)

区分	心中以外(52例)				心中(未遂を含む)(48例)			
	実母		実父		実母		実父	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
配偶者	8	15.4%	6	11.5%	13	27.1%	6	10.0%
親	9	17.3%	4	7.7%	11	22.9%	8	13.3%
配偶者の親	3	5.8%	2	3.8%	4	8.3%	5	8.3%
虐待者のきょうだい	4	7.7%	3	5.8%	6	12.5%	1	1.7%
配偶者のきょうだい	-	-	1	1.9%	-	-	2	3.3%
近所の人	1	1.9%	-	-	3	6.3%	1	1.7%
保育所などの職員	6	11.5%	1	1.9%	5	10.4%	2	3.3%
行政の相談担当課	11	21.1%	4	7.7%	4	8.3%	3	5.0%
職場以外の友人	1	1.9%	-	-	1	2.1%	-	-
親類	2	3.8%	-	-	1	2.1%	-	-
なし	7	7.7%	6	11.5%	2	4.2%	2	3.3%
職場の友人・知人	1	1.9%	-	-	-	-	1	1.7%
不明	21	40.4%	29	55.8%	23	31.5%	29	48.3%

- 子育て支援事業の利用(複数回答)は、心中以外の事例では、「なし」が25例(48.1%)とほぼ半数を占めていた。「保育所入所」は8例(15.4%)であった。  
 心中事例では、「なし」が17例(35.4%)、「保育所入所」は6例(12.5%)であった。

表4-11 子育て支援事業の利用(複数回答)

区分	心中以外(52例)		心中(未達を含む)(48例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
なし	25	48.1%	17	35.4%
つどいの広場事業	-	-	1	2.1%
訪問型一時保育事業	-	-	1	2.1%
保育所入所	8	15.4%	6	12.5%
地域子育て支援センター事業	1	1.9%	-	-
育児支援家庭訪問事業	1	1.9%	-	-
ファミリー・サポートセンター事業	1	1.9%	-	-
ショートステイ事業	1	1.9%	-	-
不明	18	34.6%	23	47.9%

○ 養育者の心理的・精神的問題等(複数回答)は、心中以外の事例では、実母の場合、「養育能力の低さ」が20例(38.5%)と最も多く、次いで「育児不安」が14例(26.9%)、「うつ状態」が9例(17.3%)、「精神疾患(医師の診断によるもの)」が7例(13.5%)であった。実父の場合、「養育能力の低さ」が8例(15.4%)と最も多かった。

心中事例では、実母の場合、「精神疾患(医師の診断によるもの)」が13例(27.1%)と最も多く、次いで「育児不安」が12例(25.0%)、「うつ状態」が9例(18.3%)、「衝動性」が8例(16.9%)であった。

表4-12 養育者の心理的・精神的問題等

i. 心中以外(複数回答)

区分	実母 例数(構成割合/52例)			実父 例数(構成割合/52例)			
	あり	なし	不明	あり	なし	不明	未記入
育児不安	14(26.9%)	6(11.5%)	32(61.5%)	2(3.8%)	7(13.5%)	40(76.9%)	3(5.8%)
マタニティーブルー	-	10(19.2%)	42(80.8%)				
産後うつ	1(1.9%)	10(19.2%)	41(78.8%)				
知的障害	-	24(46.2%)	28(53.8%)	-	15(28.8%)	34(65.4%)	3(5.8%)
精神疾患(医師の診断によるもの)	7(13.5%)	19(36.5%)	26(50.0%)	-	13(25.0%)	36(69.2%)	3(5.8%)
身体障害	-	32(61.5%)	20(38.5%)	-	18(34.6%)	31(59.6%)	3(5.8%)
その他の障害	-	26(50.0%)	26(50.0%)	-	13(25.0%)	36(69.2%)	3(5.8%)
アルコール依存	-	21(40.4%)	31(59.6%)	-	11(21.2%)	38(73.1%)	3(5.8%)
薬物依存	-	17(32.7%)	35(67.3%)	-	12(23.1%)	37(71.2%)	3(5.8%)
衝動性	5(9.6%)	9(17.3%)	38(73.1%)	4(7.7%)	3(5.8%)	42(80.8%)	3(5.8%)
攻撃性	5(9.6%)	9(17.3%)	34(70.8%)	4(7.7%)	3(5.8%)	42(80.8%)	3(5.8%)
怒りのコントロール不全	4(7.7%)	7(13.5%)	41(78.8%)	4(7.7%)	3(5.8%)	42(80.8%)	3(5.8%)
うつ状態	9(17.3%)	11(21.2%)	32(61.5%)	1(1.9%)	11(21.2%)	37(71.2%)	3(5.8%)
躁状態	-	17(32.7%)	35(67.3%)	-	12(23.1%)	37(71.2%)	3(5.8%)
感情の起伏が激しい	4(7.7%)	11(21.2%)	37(71.2%)	3(5.8%)	4(7.7%)	42(80.8%)	3(5.8%)
高い依存性	6(11.5%)	9(17.3%)	37(71.2%)	1(1.9%)	6(11.5%)	42(80.8%)	3(5.8%)
幻覚	1(1.9%)	14(26.9%)	37(71.2%)	-	10(19.2%)	39(75.0%)	3(5.8%)
妄想	1(1.9%)	14(26.9%)	37(71.2%)	-	10(19.2%)	39(75.0%)	3(5.8%)
DVを受けている	4(7.7%)	19(36.5%)	29(55.8%)	-	14(26.9%)	35(67.3%)	3(5.8%)
DVを行っている	-	25(48.1%)	27(51.9%)	1(1.9%)	10(19.2%)	38(73.1%)	3(5.8%)
自殺未遂の既往	1(1.9%)	13(25.0%)	38(73.1%)	-	10(19.2%)	39(75.0%)	3(5.8%)
養育能力の低さ	20(38.5%)	7(13.5%)	25(48.1%)	8(15.4%)	3(5.8%)	38(73.1%)	3(5.8%)

表4-12 養育者の心理的・精神的問題等

ii. 心中(未遂を含む)(複数回答)

区分	実母 例数(構成割合/48例)				実父 例数(構成割合/48例)			
	あり	なし	不明	未記入	あり	なし	不明	未記入
育児不安	12(25.0%)	5(10.4%)	30(62.5%)	1(2.1%)	1(2.1%)	10(20.8%)	35(72.9%)	2(4.2%)
マタニティーブルー	-	9(18.4%)	38(79.2%)	1(2.1%)				
産後うつ	2(4.2%)	12(25.0%)	33(68.8%)	1(2.1%)				
知的障害	2(4.2%)	17(35.4%)	28(58.3%)	1(2.1%)	-	17(35.4%)	29(60.4%)	2(4.2%)
精神疾患(医師の診断によるもの)	13(27.1%)	8(16.7%)	26(54.2%)	1(2.1%)	-	15(31.3%)	31(64.6%)	2(4.2%)
身体障害	1(2.1%)	20(41.7%)	26(54.2%)	1(2.1%)	-	16(33.3%)	30(62.5%)	2(4.2%)
その他の障害	1(2.1%)	14(29.2%)	32(66.7%)	1(2.1%)	-	13(27.1%)	33(68.8%)	2(4.2%)
アルコール依存	2(4.2%)	13(27.1%)	32(66.7%)	1(2.1%)	-	11(22.9%)	35(72.9%)	2(4.2%)
薬物依存	-	13(27.1%)	34(70.8%)	1(2.1%)	-	11(22.9%)	35(72.9%)	2(4.2%)
衝動性	8(16.9%)	5(10.4%)	34(70.8%)	1(2.1%)	2(4.2%)	9(18.8%)	35(72.9%)	2(4.2%)
攻撃性	3(6.3%)	10(20.8%)	34(70.8%)	1(2.1%)	3(6.3%)	9(18.8%)	34(70.8%)	2(4.2%)
怒りのコントロール不全	4(8.3%)	8(16.7%)	35(72.9%)	1(2.1%)	1(2.1%)	10(20.8)	35(72.9%)	2(4.2%)
うつ状態	9(18.3%)	3(6.3%)	35(72.9%)	1(2.1%)	1(2.1%)	9(18.8%)	36(75.0%)	2(4.2%)
躁状態	2(4.2%)	7(14.6%)	38(79.2%)	1(2.1%)	-	10(20.8%)	36(75.0%)	2(4.2%)
感情の起伏が激しい	4(8.3%)	5(10.4%)	38(79.2%)	1(2.1%)	1(2.1%)	10(20.8%)	35(72.9%)	2(4.2%)
高い依存性	-	8(16.7%)	39(81.3%)	1(2.1%)	-	11(22.9%)	35(72.9%)	2(4.2%)
幻覚	-	8(16.7%)	39(81.3%)	1(2.1%)	-	13(27.1%)	33(68.8%)	2(4.2%)
妄想	-	9(18.8%)	38(79.2%)	1(2.1%)	-	13(27.1%)	33(68.8%)	2(4.2%)
DVを受けている	1(2.1%)	9(18.8%)	37(77.1%)	1(2.1%)	-	12(25.0%)	34(70.8%)	2(4.2%)
DVを行っている	-	14(29.2%)	33(68.8%)	1(2.1%)	-	10(20.8%)	36(75.0%)	2(4.2%)
自殺未遂の既往	1(2.1%)	9(18.8%)	37(77.1%)	1(2.1%)	-	12(25.0%)	34(70.8%)	2(4.2%)
養育能力の低さ	3(6.3%)	14(29.2%)	30(62.5%)	1(2.1%)	-	13(27.1%)	33(68.8%)	2(4.2%)

## 5) 関係機関の対応について

○ 児童相談所及び関係機関の関与については、心中以外の事例では、関係機関との接点（保健所、養育・教育機関、福祉事務所など）はあったが、家庭への支援の必要はないと判断していた事例は24例（46.2%）と最も多く、関係機関と全く接点を持ちえなかった事例が6例（11.5%）であった。

心中事例では、関係機関との接点（保健所、養育・教育機関、福祉事務所など）はあったが、家庭への支援の必要はないと判断していた事例は34例（70.8%）と最も多く、関係機関と全く接点を持ちえなかった事例が3例（6.3%）であった。

表5-1 児童相談所及び関係機関の関与について

区分	平成17年		平成18年			
	心中以外		心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所が関わっていた事例 (虐待以外の養護相談などで関わっていた事例を含む)	10	19.6%	12	23.1%	8	16.7%
関係機関が虐待やその疑いを認識していたが、児童相談所が関わっていなかった事例	1	2.0%	4	7.7%	1	2.1%
関係機関との接点があったが、家庭への支援の必要はないと判断していた事例	23	45.2%	24	46.2%	34	70.8%
関係機関と全く接点を持ちえなかった事例	12	23.5%	6	11.5%	3	6.3%
不明	5	9.8%	6	11.5%	2	4.2%

※平成17年の心中(未遂を含む)については調査項目なし

○ 虐待通告の有無は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「あり」が10例（20.4%）であり、うち7例（14.3%）の通告先は児童相談所であった。また、「なし」は39例（79.6%）であった。

心中事例では、「あり」が3例（7.0%）であり、うち2例（4.7%）の通告先は児童相談所であった。また、「なし」は40例（93.0%）であった。

表5-2 虐待通告の有無

区分	心中以外			心中(未遂を含む)			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
あり	10	19.2%	20.4%	3	6.3%	7.0%	
内訳(再掲)	児童相談所	7	13.5%	14.3%	2	4.2%	4.7%
	市町村	2	3.8%	4.1%	1	2.1%	2.3%
	福祉事務所	1	1.9%	2.0%	-	-	-
なし	39	75.0%	79.6%	40	83.3%	93.0%	
小計	49	94.2%	100.0%	43	89.6%	100.0%	
不明	3	5.8%		5	10.4%		
計	52	100.0%		48	100.0%		

○ 児童相談所の関与の有無は、心中以外の事例では、12例（23.1%）で関与があったが、40例（76.9%）で関与はなかった。

心中事例では、8例（16.7%）で関与があったが、8割以上を占める40例（83.3%）で関与はなかった。

表5-3 児童相談所の関与の有無

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	12	23.1%	8	16.7%
なし	40	76.9%	40	83.3%
計	52	100.0%	48	100.0%

○ 児童相談所の虐待についての認識は、心中以外の事例では、児童相談所の関与があった12例のうち、「虐待の認識があり、対応していた」のは5例（41.7%）、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」のは1例（8.3%）、「虐待の認識はなかった」のは6例（50.0%）であった。

心中事例で、児童相談所の関与があった8例のうち、「虐待の認識があり、対応していた」のは2例（25.0%）、「虐待の認識はなかった」のは6例（75.0%）であった。

表5-4 児童相談所の虐待についての認識

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
虐待の認識があり、対応していた	5	41.7%	2	25.0%
虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった	1	8.3%	-	-
虐待の認識はなかった	6	50.0%	6	75.0%
計	12	100.0%	8	100.0%

○ 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直しは、心中以外の事例では、児童相談所の関与があった12例のうち、9例（75.0%）が行っていなかった。

心中事例で、児童相談所の関与があった8例のうち、7例（87.5%）が行っていなかった。

表5-5 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
行った	2	16.7%	1	12.5%
行わなかった	9	75.0%	7	87.5%
未記入	1	8.3%	-	-
計	12	100.0%	8	100.0%

○ 児童相談所と子どもとの接触は、心中以外の事例では、児童相談所の関与があった12例のうち、9例（75.0%）が子どもと接触があり、3例（25.0%）は接触がなかった。

心中事例では、児童相談所の関与があった8例のうち、5例（62.5%）が子どもと接触があり、2例（25.0%）は接触がなかった。

表5-6 児童相談所と子どもとの接触

区分	心中以外		心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	
あり	9	75.0%	5	62.5%	
内訳(再掲)	初回面接時のみ	2	16.7%	2	25.0%
	週1回程度	1	8.3%	-	-
	2週間に1回程度	1	8.3%	-	-
	1ヶ月に1回程度	1	8.3%	-	-
	2ヶ月に1回程度	1	8.3%	-	-
	3ヶ月に1回程度	1	8.3%	-	-
	その他	2	16.7%	3	37.5%
なし	3	25.0%	2	25.0%	
未記入	-	-	1	12.5%	
計	12	100.0%	8	100.0%	

○ 児童相談所による最終安全確認の時期は、有効割合で見ると、心中以外的事例では、児童相談所の関与があった事例のうち、「死亡前1週間未満」に1例（10.0%）、「死亡前1週間～1ヶ月未満」に2例（20.0%）と、死亡前1ヶ月未満に安全確認されていた例は約3割であった。

心中事例では、「死亡前1週間未満」に2例（33.3%）、「死亡前1週間～1ヶ月未満」に1例（16.7%）と、死亡前1ヶ月未満に安全確認されていた例が約5割であった。

表5-7 児童相談所による最終安全確認の時期

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
死亡前1週間未満	1	8.3%	10.0%	2	25.0%	33.3%
死亡前1週間～1ヶ月未満	2	16.7%	20.0%	1	12.5%	16.7%
死亡前1ヶ月～3ヶ月未満	5	41.7%	50.0%	-	-	-
死亡前3ヶ月～半年未満	-	-	-	2	25.0%	33.3%
死亡前半年以上	2	16.7%	20.0%	1	12.5%	16.7%
小計	10	83.4%	100.0%	6	75.0%	100.0%
未記入	2	16.7%		2	25.0%	
計	12	100.0%		8	100.0%	



○ 児童相談所とその他の関係機関との連携は、心中以外の事例では、関係機関同士が関わっていた17例のうち、連携が「よく取れていた」のは8例（47.1%）、「まあまあ取れていた」のは5例（29.4%）であった。

心中事例では、関係機関が関わっていた11例のうち、連携が「よく取れていた」のは4例（36.4%）、「まあまあ取れていた」のは3例（27.3%）であった。

表5-8 児童相談所とその他の関係機関との連携

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
よく取れていた	8	47.1%	4	36.4%
まあまあ取れていた	5	29.4%	3	27.3%
あまり取れていなかった	4	23.5%	3	27.3%
ほとんど取れていなかった	-	-	1	9.1%
計	17	100.0%	11	100.0%

○ 市町村の関与の有無については、有効割合で見ると、心中以外の事例では9例（19.1%）、心中事例では4例（9.5%）であった。

表5-9 市町村の関与の有無

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	9	17.3%	19.1%	4	8.3%	9.5%
なし	38	73.1%	80.9%	38	79.2%	90.5%
小計	47	90.4%	100.0%	42	87.5%	100.0%
不明	5	9.6%		6	12.5%	
計	52	100.0%		48	100.0%	

○ 施設入所及び措置解除に関連した死亡事例のこどもの年齢は、心中以外の事例では、0歳～2歳、5歳がそれぞれ1人（14.3%）、4歳が3人（42.9%）であった。

心中事例では、4歳、6歳、14歳がそれぞれ1人（16.7%）、9歳、10歳がそれぞれ2人（33.3%）であった。

表5-10 施設入所及び措置解除に関連した死亡事例のこどもの年齢

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
0歳	1	14.3%	-	-
1歳	1	14.3%	-	-
2歳	1	14.3%	-	-
3歳	-	-	-	-
4歳	3	42.9%	-	-
5歳	1	14.3%	-	-
6歳	-	-	1	16.7%
7歳	-	-	-	-
8歳	-	-	-	-
9歳	-	-	2	33.3%
10歳	-	-	2	33.3%
11歳	-	-	-	-
12歳	-	-	-	-
13歳	-	-	-	-
14歳	-	-	1	16.7%
15歳	-	-	-	-
16歳	-	-	-	-
17歳	-	-	-	-
計	7	100.0%	6	100.0%

○ 児童相談所以外の関係機関の関与は、心中以外の事例では、虐待の認識の有無に関わらず関与状況をみると、「市町村保健センター」が23例（44.2%）と最も多かった。次いで、「医療機関」が16例（30.8%）、「福祉事務所」が14例（26.9%）であった。

心中事例では、虐待の認識の有無に関わらず関与状況をみると、「教育機関（学校等）」が22例（45.8%）と最も多く、これは児童の年齢層が高く、多くが学校に所属していたことを示している。次いで、「養育機関（保育所等）」「医療機関」がともに10例（20.8%）であった。

表5-11 児童相談所以外の関係機関の関与

区分	心中以外 上段:例数 下段:構成割合/52例						心中(未遂を含む) 上段:例数 下段:構成割合/48例					
	関与なし	関与あり			不明	未記入	関与なし	関与あり			不明	未記入
		虐待の認識なし	虐待の認識あり	不明				虐待の認識なし	虐待の認識あり	不明		
福祉事務所	30 57.7%	8 15.4%	6 11.5%	-	8 15.4%	-	35 72.9%	5 10.4%	-	-	8 16.7%	-
家庭児童相談室	37 71.2%	3 5.8%	5 9.6%	-	6 11.5%	1 1.9%	36 75.0%	2 4.2%	-	-	8 16.7%	2 4.2%
児童委員	36 69.2%	1 1.9%	3 5.8%	-	12 23.1%	-	33 68.8%	-	-	-	15 31.3%	-
保健所	36 69.2%	3 5.8%	2 3.8%	-	11 21.2%	-	31 64.6%	5 10.4%	-	-	12 25.0%	-
市町村保健センター	22 42.3%	18 34.6%	5 9.6%	-	6 11.5%	1 1.9%	27 56.3%	7 14.6%	2 4.2%	-	10 20.8%	2 4.2%
養育機関 (保育所等)	36 69.2%	4 7.7%	6 11.5%	2 3.8%	4 8.3%	-	31 64.6%	4 8.3%	2 4.2%	4 8.3%	7 14.6%	-
教育機関 (学校等)	42 80.8%	3 5.8%	2 3.8%	5 9.6%	-	-	24 50.0%	11 22.9%	-	11 22.9%	2 4.2%	-
医療機関	23 44.2%	13 25.0%	3 5.8%	-	13 25.0%	-	16 33.3%	8 16.7%	2 4.2%	-	22 45.8%	-
助産師	38 73.1%	1 1.9%	1 1.9%	-	12 23.1%	-	28 58.3%	1 2.1%	-	-	19 39.6%	-
警察	38 73.1%	2 3.8%	1 1.9%	-	11 21.2%	-	26 54.2%	3 6.3%	-	-	19 39.6%	-

## 6) 要保護児童対策地域協議会

○ 要保護児童対策地域協議会等の有無については、死亡事例が発生した地域において、「あり」が心中以外の事例では23例（44.2%）、心中事例では24例（50.0%）であった。

表6-1 要保護児童対策地域協議会等の有無

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	23	44.2%	24	50.0%
なし	29	55.8%	24	50.0%
計	52	100.0%	48	100.0%

○ 要保護児童対策地域協議会に参加している機関(複数回答)は、「福祉事務所」、「保健センター」、「医療機関」、「保育所」、「児童委員」、「警察」、「教育委員会」は7割以上参加していた。一方、「裁判所」、「民間団体」、「弁護士」の参加は低い傾向にあった。

表6-2 要保護児童対策地域協議会に参加している機関(複数回答)

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合/23例	例数	構成割合/24例
児童相談所	22	95.7%	24	100.0%
市町村担当課	18	78.3%	22	91.7%
福祉事務所	18	78.3%	19	79.2%
児童家庭支援センター	7	30.4%	6	25.0%
保健所	16	69.6%	15	62.5%
保健センター	18	78.3%	16	66.7%
医療機関	17	73.9%	18	75.0%
保育所	21	91.3%	20	83.3%
認可外保育施設	1	4.3%	2	8.3%
幼稚園	13	56.5%	17	70.8%
小学校	16	69.6%	16	66.7%
中学校	14	60.9%	14	58.3%
高等学校	3	13.0%	3	12.5%
児童委員	19	82.6%	16	66.7%
警察	16	69.6%	18	75.0%
裁判所	1	4.3%	1	4.2%
弁護士	5	21.7%	2	8.3%
民間団体	1	4.3%	4	16.7%
教育委員会	17	73.9%	16	66.7%
児童館	5	21.7%	3	12.5%
児童養護施設等の児童福祉施設	6	26.1%	3	12.5%
社会福祉協議会	7	30.4%	3	12.5%
婦人相談所	2	8.7%	2	8.3%
その他	1	4.3%	1	4.2%

○ 要保護児童対策地域協議会の活用度は、心中以外の事例では、「よく活用した」が11例（47.8%）、「ある程度活用した」が10例（43.5%）、「あまり活用しなかった」及び「ほとんど活用しなかった」がそれぞれ1例（4.3%）であった。

心中事例では、「よく活用した」が11例（45.8%）、「ある程度活用した」が9例（37.5%）、「あまり活用しなかった」が3例（12.5%）、「ほとんど活用しなかった」が1例（4.2%）であった。

表6-3 要保護児童対策地域協議会の活用度

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
よく活用した	11	47.8%	11	45.8%
ある程度活用した	10	43.5%	9	37.5%
あまり活用しなかった	1	4.3%	3	12.5%
ほとんど活用しなかった	1	4.3%	1	4.2%
計	23	100.0%	24	100.0%

○ 本事例についての検討の有無は、心中以外的事例が4例（17.4%）、心中事例では1例（4.2%）のみであった。

表6-4 本事例についての検討の有無

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	4	17.4%	1	4.2%
なし	19	82.6%	23	95.8%
計	23	100.0%	24	100.0%

## 7) 死亡後の対応

- 死亡情報の入手先は、心中以外の事例では、「報道」が26例（48.1%）と最も多く、次いで「警察」が13例（24.1%）であった。心中事例では、39例（78.0%）が「報道」によって情報を入手していた。

表7-1 死亡情報の入手先(重複有り)

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
警察	13	24.1%	7	14.0%
報道	26	48.1%	39	78.0%
家族	1	1.9%	3	6.1%
その他	5	9.3%	1	2.0%
病院	9	16.7%	-	-

- 検証の実施は、有効割合で見ると、心中以外的事例では19例（36.5%）、心中事例では11例（23.4%）において検討が実施されており、心中以外的事例の方が多かった。

表7-2 検証の実施

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	19	36.5%	36.5%	11	22.9%	23.4%
なし	33	63.5%	63.5%	36	75.0%	76.6%
小計	52	100.0%	100.0%	47	97.9%	100.0%
不明	-	-		1	2.1%	
計	52	100.0%		48	100.0%	

- 検証を実施した30例を分析すると、**検証チームの構成**は、心中事例と心中以外的事例を合わせた全体でみると、「関係した機関全て」が13例（43.3%）と最も多かった。

表7-3 検証チームの構成

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所のみ	1	5.3%	2	18.2%
市町村のみ	-	-	1	9.1%
児童相談所と市町村	2	10.5%	1	9.1%
児童相談所と都道府県・指定都市／児童相談所と市町村・都道府県(重複)	7	36.8%	2	18.2%
その他の機関単独	1	5.3%	-	-
関係した機関全て	8	42.1%	5	45.5%
計	19	100.0%	11	100.0%

- **検証チームへの第三者の参加**について、有効割合でみると、「あり」は、心中以外的事例では12例（63.2%）、心中事例では4例（44.4%）であり、心中以外的事例の方が多く、全体でみると、5割以上の検証チームに第三者が参加していた。

表7-4 検証チームへの第三者の参加

区分	心中以外		心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	有効割合
あり	12	63.2%	4	36.4%	44.4%
なし	7	36.8%	5	45.5%	55.6%
小計	19	100.0%	9	81.9%	100.0%
未記入	-	-	2	18.2%	
計	19	100.0%	11	100.0%	



○ 検証事例に関し、危機感を持つべきだったと思われる時期については、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「死亡前1ヶ月～3ヶ月未満」が10例（35.7%）と最も多く、次いで「死亡前半年以上」が9例（32.1%）、「死亡前1週間～1ヶ月未満」が5例（17.9%）であった。

同様に、心中事例では、「死亡前3ヶ月～半年未満」が4例（28.6%）と最も多く、次いで「死亡前半年以上」及び「死亡前1週間～1ヶ月未満」がそれぞれ3例（21.4%）であった。

表7-5 検証事例に関し、危機感を持つべきだったと思われる時期

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
死亡前1週間未満	2	3.8%	7.1%	2	4.2%	14.3%
死亡前1週間～1ヶ月未満	5	9.6%	17.9%	3	6.3%	21.4%
死亡前1ヶ月～3ヶ月未満	10	19.2%	35.7%	2	4.2%	14.3%
死亡前3ヶ月～半年未満	2	3.8%	7.1%	4	8.3%	28.6%
死亡前半年以上	9	17.3%	32.1%	3	6.3%	21.4%
小計	28	53.7%	100.0%	14	29.3%	100.0%
無回答	24	46.2%		34	70.8%	
計	52	100.0%		48	100.0%	

## 8) 残されたきょうだいについて

- 死亡事例全体（100例）のうち、同居しているか否かに関わらず、きょうだいは、有効割合で見ると、「なし」が38例（42.2%）であった。「2人きょうだい」が39例（43.3%）、「3人きょうだい」が6例（6.7%）、「4人きょうだい以上」が7例（7.8%）であった。

表8-1 きょうだいについて

区分	例数	構成割合	有効割合
なし(ひとりっ子)	38	38.0%	42.2%
1人(2人きょうだい)	39	39.0%	43.3%
2人(3人きょうだい)	6	6.0%	6.7%
3人(4人きょうだい以上)	7	7.0%	7.8%
小計	90	90.0%	100.0%
不明	10	10.0%	
計	100	100.0%	

残されたきょうだいは、心中以外の事例では41人、心中事例では10人であり、心中事例ではきょうだい全員が被害にあう可能性が高く、残されるきょうだいが少ない傾向があった。

- 残されたきょうだいの性別は、心中以外の事例は、男が15人（36.6%）、女が26人（63.4%）であった。心中事例では、男が9人（90.0%）、女が1人（10.0%）であった。

表8-2 残されたきょうだいの性別

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
男	15	36.6%	9	90.0%
女	26	63.4%	1	10.0%
計	41	100.0%	10	100.0%